

4. 住宅建設

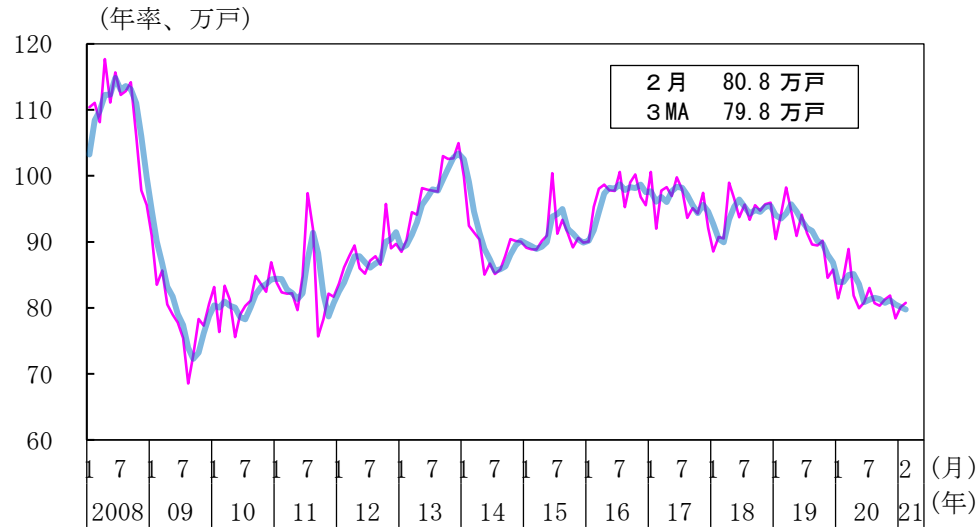
住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。

(前年同期(月)比、[]内は暦年前年比、()内は季調済前期(月)比、%)

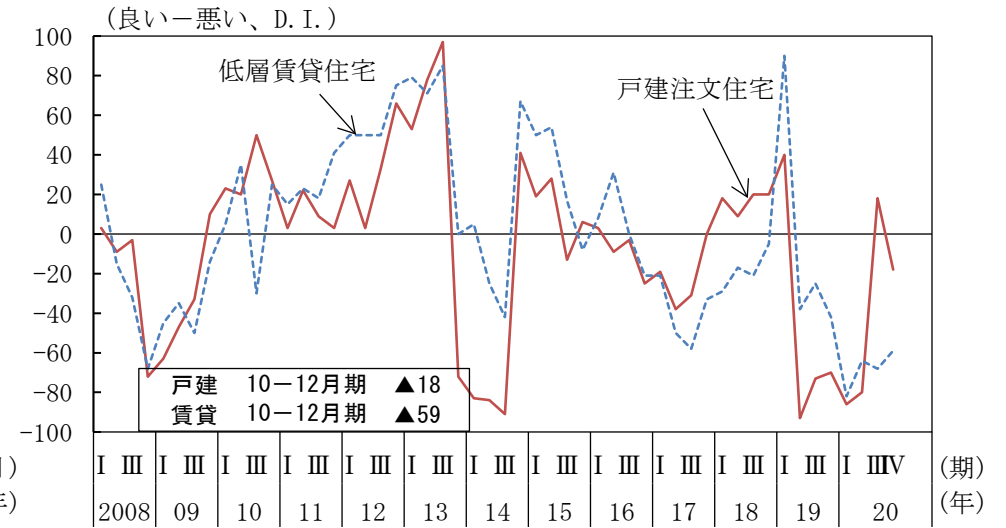
	[2019年] 2018年度	[2020年] 2019年度	2020年 4-6月	7-9月	10-12月	2020年 12月	2021年 1月	2月
新設住宅着工戸数 (万戸) (万戸)	[90.5] 95.3	[81.5] 88.4	80.9	81.3	80.5	78.4	80.1	80.8
	[▲ 4.0] 0.7	[▲ 9.9] ▲ 7.3	(▲ 4.8) ▲ 12.4	(0.6) ▲ 10.1	(▲ 1.0) ▲ 7.0	(▲ 4.2) ▲ 9.0	(2.2) ▲ 3.1	(0.8) ▲ 3.7
建築主が民間	[▲ 3.8] 0.7	[▲ 10.0] ▲ 7.3	(▲ 4.1) ▲ 12.1	(0.7) ▲ 10.3	(▲ 0.7) ▲ 6.8	(▲ 4.3) ▲ 9.2	(2.1) ▲ 2.2	(0.7) ▲ 3.4
持家	[1.9] 2.0	[▲ 9.6] ▲ 1.5	(▲ 8.8) ▲ 18.2	(3.0) ▲ 9.9	(4.4) ▲ 0.9	(▲ 1.1) 2.4	(2.4) 6.4	(1.5) 4.3
貸家	[▲ 13.7] ▲ 4.9	[▲ 10.4] ▲ 14.2	(▲ 5.0) ▲ 11.9	(0.1) ▲ 9.7	(▲ 5.2) ▲ 10.4	(▲ 3.6) ▲ 11.5	(▲ 5.8) ▲ 18.0	(13.2) ▲ 0.4
分譲	[4.9] 7.5	[▲ 10.2] ▲ 2.8	(▲ 0.4) ▲ 6.0	(▲ 1.5) ▲ 11.7	(▲ 2.9) ▲ 11.4	(▲ 8.8) ▲ 18.4	(15.2) 6.9	(▲ 13.9) ▲ 14.6
一戸建て	[3.6] 5.1	[▲ 11.5] 0.8	(▲ 6.3) ▲ 10.8	(▲ 8.4) ▲ 18.5	(3.9) ▲ 11.9	(▲ 0.1) ▲ 9.1	(4.0) ▲ 6.3	(0.2) ▲ 4.0
マンション	[6.5] 10.6	[▲ 8.7] ▲ 7.1	(7.9) 0.4	(6.8) ▲ 3.6	(▲ 10.1) ▲ 10.7	(▲ 19.4) ▲ 31.1	(32.0) 27.9	(▲ 30.7) ▲ 26.8
着工床面積	[▲ 0.6] 1.0	[▲ 11.2] ▲ 4.5	(▲ 4.4) ▲ 13.8	(▲ 0.8) ▲ 13.1	(0.2) ▲ 7.7	(▲ 2.9) ▲ 7.9	(0.3) 0.1	(3.1) ▲ 2.9
建築主が民間	[▲ 0.4] 1.1	[▲ 11.3] ▲ 4.5	(▲ 4.0) ▲ 13.7	(▲ 0.6) ▲ 13.3	(0.4) ▲ 7.5	(▲ 3.0) ▲ 8.0	(0.4) 0.7	(2.8) ▲ 2.7
工事費予定額平米単価 (万円) (万円)	[19.9] 19.4	[20.1] 20.0	20.0	20.4	19.7	19.7	20.2	19.9
	[3.3] 0.9	[0.6] 2.9	3.2	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 0.1	1.6	▲ 1.7

- (備考) 1. 国土交通省「建築着工統計」により作成。
 2. 「建築主が民間」とは、建築主別の「会社」、「会社でない団体」、「個人」の合計を、内閣府において季節調整したものである。
 3. 「一戸建て」には長屋建てを含む。「マンション」は建て方が共同住宅のものである。
 4. 「工事費予定額平米単価」は、「居住専用+居住産業併用×0.7」の工事費予定額、着工床面積により算出した。

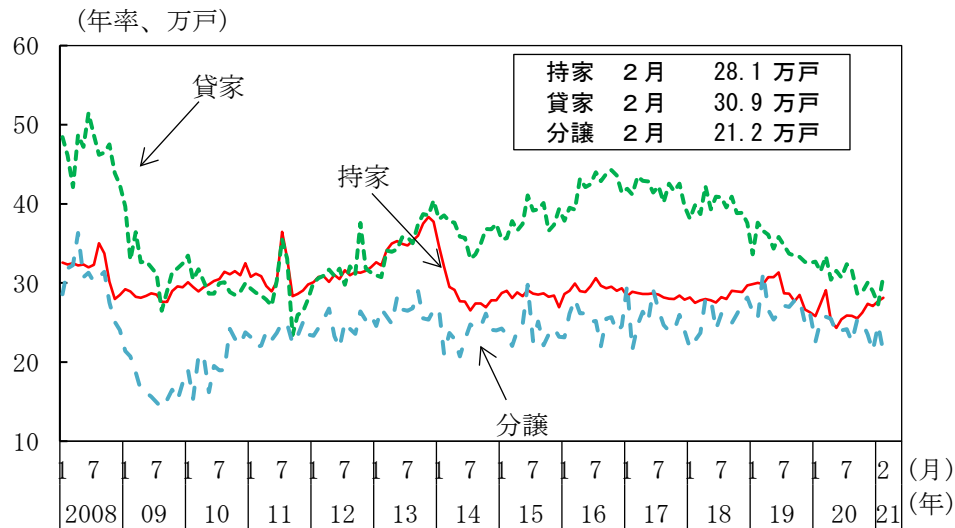
住宅着工戸数（季節調整値）



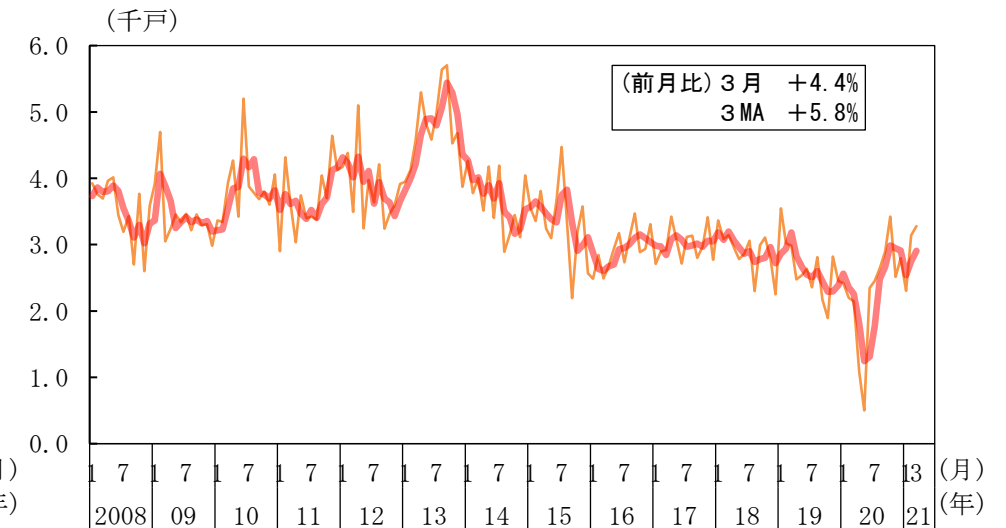
住宅景況判断指数（受注戸数）



利用関係別住宅着工戸数（季節調整値）



首都圏のマンション総販売戸数（季節調整値）



- (備考) 1. 国土交通省「建築着工統計」、(一社)住宅生産団体連合会「経営者の住宅景況感調査」、(株)不動産経済研究所資料により作成。太線は後方3か月移動平均。
2. 住宅景況判断指数（受注戸数）は、住宅生産団体連合会の企業会員等18社の経営者を対象に、受注戸数の前年同期比（実績）について「10%程度以上良い」から「10%程度以上悪い」の5段階の評価に応じた評点により加重平均して算出した値（-100～+100）。
3. 首都圏のマンション総販売戸数は内閣府による季節調整値。